

2022年11月30日

各位

沖縄県労働金庫

2022年度上期財務状況等（仮決算概況）について

このたび、当金庫の2022年度上期（2022年9月期）の仮決算概況をとりまとめましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、労働金庫は半期決算が法定化されていませんが、当金庫は、内部規定に基づき、期末決算（3月期）に準じて仮決算を行っております。

記

1. 損益の状況〔表1〕

- (1) 経常利益は、前年同期比で1億8百万円〔増加率20.87%〕増加し、6億28百万円となりました。
- (2) 中間純利益は、経常収益の増加等により、前年同期比で79百万円〔増加率21.41%〕増加し、4億52百万円となりました。

2. 預金および貸出金の状況〔表2〕

- (1) 預金（譲渡性預金を含む）は、前年同期比で81億8百万円〔増加率2.54%〕増加し、3,262億47百万円となりました。
- (2) 個人預金は、前年同期比で102億39百万円〔増加率3.95%〕増加し、2,688億27百万円となりました。
- (3) 貸出金は、前年同期比で217億28百万円〔増加率10.39%〕増加し、2,307億93百万円となりました。
- (4) 個人向け貸出は、前年同期比で222億28百万円〔増加率11.30%〕増加し、2,188億6百万円となりました。

3. 自己資本比率の状況〔表3〕

2022年9月末現在の自己資本比率（単体）は、2022年3月末から0.33ポイント低下し、8.87%となりました。

4. 債権管理の状況

労働金庫法及び金融機能の再生のための緊急措置に関する法律ベースの債権区分による債権の開示 [表 4]

- (1) 2022 年 9 月末時点における労働金庫法及び金融再生法ベースの不良債権額（貸出金以外の与信も対象）は、前年同期比で 63 百万円増加し、7 億 14 百万円となりました。
- (2) 労働金庫法及び金融再生法ベースの不良債権比率（総与信額に占める労働金庫法及び金融再生法ベースの不良債権の割合）は、前年同期比で 0.01 ポイント低下し、0.30%となりました。

以上

<p>【 本 件 に 関 す る お 問 合 せ 先 】 沖 縄 県 労 働 金 庫 経 営 統 括 部 担 当 : 宇 地 泊 信 司 (う ち ど ま り し ん じ) 大 城 勇 治 (お お し ろ ゆ う じ) 電 話 : 0 9 8 - 8 6 1 - 1 1 9 6</p>
--

沖縄県労働金庫の2022年度上期財務状況等（仮決算概況表）

1. 損益の状況 [表 1]

（単位：百万円、％）

科目	2022年度9月期	2021年度9月期	増減額	増減率
経常収益	2,383	2,244	138	6.17
資金運用収益	1,859	1,775	83	4.72
役務取引等収益	319	317	2	0.76
その他業務収益	180	127	52	40.83
臨時収益	23	23	0	0.49
経常費用	1,755	1,724	30	1.75
資金調達費用	73	75	△ 1	△ 2.01
役務取引等費用	359	319	40	12.67
その他業務費用	10	1	9	762.95
一般貸倒引当金繰入額	-	-	-	-
経費	1,307	1,326	△ 18	△ 1.40
臨時費用	3	2	0	11.95
経常利益	628	519	108	20.87
特別利益	-	0	0	△ 100.00
特別損失	0	2	△ 2	△ 100.00
税引前中間純利益	628	518	109	21.22
法人税、住民税及び事業税	165	123	42	34.34
法人税等調整額	10	22	△ 12	△ 54.38
中間純利益	452	372	79	21.41
業務純益	607	498	108	21.79
実質業務純益	607	498	108	21.79
コア業務純益	617	498	119	23.90
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	617	498	119	23.90
経常利益	628	519	108	20.87
中間純利益	452	372	79	21.41

2. 預金および貸出金の状況 [表 2]

(単位：百万円、%)

科目	2022年9月末	2021年9月末	増減額	増減率
預金(譲渡性預金含む)	326,247	318,139	8,108	2.54
うち個人預金	268,827	258,587	10,239	3.95
貸出金	230,793	209,065	21,728	10.39
うち個人向け貸出	218,806	196,578	22,228	11.30

3. 自己資本比率(単体)の状況 [表 3]

項目	2022年9月末 (概算)	2022年3月末	2021年9月末 (概算)
自己資本比率	8.87%程度	9.20%	9.35%程度

(注) 当金庫は、半期決算が法定化されていませんが、内部規定に基づき、期末決算(3月末)に準じた仮決算を行っております。上記9月期の自己資本比率は、仮決算結果に基づいて算出した概算値です。

4. 債権管理の状況

労働金庫法及び金融機能の再生のための緊急措置に関する法律ベースの債権区分による債権の開示 [表 4]

(単位：百万円)

区分	2022年9月末 (概算)	2022年3月末	2021年9月末 (概算)
労働金庫法及び金融再生法ベースの不良債権(A)	714	536	651
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	137	111	97
危険債権	449	420	532
要管理債権	128	5	22
三月以上延滞債権	128	5	22
貸出条件緩和債権	-	-	-
保全額(B)	715	536	651
担保・保証等による回収見込み額	713	534	648
貸倒引当金	2	2	3
保全率(B)/(A) (%)	100.00%	100.00%	100.00%
正常債権(C)	230,231	220,653	208,558
総与信残高(D)=(A)+(C)	230,945	221,190	209,210
労働金庫法及び金融再生法ベースの不良債権比率(A)/(D) (%)	0.30%	0.24%	0.31%

(注) 単位未満は、四捨五入しています。

以上